

橋本市上下水道台帳管理システム再構築業務 評価基準書

この基準は、橋本市上下水道事業が公募型プロポーザル方式により、橋本市上下水道台帳管理システム再構築業務の受託者を決定するため、参加事業者から提出された業務提案書等の内容を客観的に評価し審査するための基準として示すものである。

1. 評価基準

項目ごとの配点は、表 1 のとおりとする。

表 1 提案書等の評価基準表（合計 500 点満点）

項目	提案を求める事項提案 (審査対象)	配点	評価対象
【一次審査】			
1. 会社概要	会社の規模 企業実績 予定技術者の実績	60	会社概要書 業務実績 配置予定技術者調書
2. システム機能	システム機能調査票	65	システム機能調査票
【二次審査】			
3. 企画提案書	実施方針 業務体制及び再構築スケジュール 上下水道関連データ移行 上下水道台帳管理システム機能（共通・上水道・下水道） 品質・精度管理 システム運用・保守 独自提案	250	各業務に関する企画・提案、デモンストレーション、ヒアリング
4. プレゼンテーション	プレゼンテーション	50	デモンストレーション、ヒアリング
5. 提案見積金額	提案見積金額	75	提案見積書
合計		500	

2. 審査方法

(1) 定性的評価項目の点数化

表 1 に示した評価項目のうち、定性的評価項目（企画提案書、プレゼンテーション）については、次に示す 4 段階評価による点数化方法により得点を付す。

※小数点以下は四捨五入

評価	評価の意味合い	点数化方法
A	優れている	配点×1.00
B	やや優れている	配点×0.75
C	やや劣っている	配点×0.50
D	劣っている	配点×0.25

(2) システム機能要件の点数化

システム機能調査票に基づき、当初配点から機能充足状況により点数化する。

※小数点第 2 位を四捨五入

$$\text{評価点} = \left[\frac{A \times 1 + B \times 0.5 + C \times 0}{119} \right] \times \text{配点}$$

A：標準で装備している。

B：カスタマイズもしくは代替え機能で用意する。

C：用意できない。装備なし。

(3) 提案見積金額の点数化

提案見積金額については、次の式にて見積金額を点数化する。

※小数点第 2 位を四捨五入

$$\text{評価点} = \left[\frac{\text{①最低見積金額}}{\text{②提案見積金額}} \right] \times \text{配点}$$

※見積上限価格を超過した場合は失格とする。

3. 評価の着眼点

プロポーザルの審査及び評価は、業務に対する理解度、説明能力、意欲、独自性、実施手順や体制の妥当性、提案内容の根拠等を基準に行う。

各項目における審査及び評価のポイントは、以下のとおりとする。

3.1 会社概要

●会社の規模

- 1) 資本金の額を評価する。
- 2) 従業員数を評価する。
- 3) 直近の決算年度の年間売上高を評価する。

●企業実績〔当該年度を含まない過去 10 年間〕

- 1) 上水道及び下水道台帳管理システムの構築（再構築含む）に係る業務実績を評価する。
- 2) 公告日時点の上水道及び下水道台帳管理システムが稼働している実績を評価する。

●予定技術者の実績〔実績は当該年度を含まない過去 10 年間〕

- 1) 主任（管理）技術者の実績を評価する。
- 2) 主任（管理）技術者の実務経験年数を評価する。
- 3) 照査技術者の実績を評価する。
- 4) 照査技術者の実務経験年数を評価する。
- 5) 担当技術者の実績を評価する。
- 6) 担当技術者の実務経験年数を評価する。

3.2 企画提案書

●実施方針

- 1) 業務の内容・性質の理解度が高い場合に優位に評価する。

●実施体制及び再構築スケジュール

- 1) 業務を確実に遂行する実施体制が確保されている場合に優位に評価する。
- 2) 業務工程・業務フローの業務手順や工程計画の妥当性が高い場合には優位に評価する。

●上下水道関連データ移行

- 1) 既存データ移行・整備に係る全体方針について評価する。
- 2) 既存データの精度確保の対応を評価する。
- 3) 既存データの移行時のセキュリティ対策を評価する。

●システム基本機能【共通】

- 1) ベンダーロックインの回避策について評価する。
- 2) 苦情要望処理支援の機能性・操作性について評価する。
- 3) 修繕履歴管理として、修繕履歴等の情報が適切に管理できる内容を評価する。
- 4) 施設点検支援として、点検記録等の情報が適切に管理できる内容を評価する。
- 5) 印刷・出力機能について、機能性・操作性について評価する。

●システム専用機能【上水道】

- 1) 管路・弁栓施設の敷設状況が容易に確認/更新できる機能を評価する。
- 2) 給水施設を容易に確認/更新できる機能を評価する。
- 3) 断水管路検討機能について評価する。
- 4) 編集・集計機能について評価する。
- 5) 検針データ取込み機能の容易さについて評価する。

●システム専用機能【下水道】

- 1) 管路施設の敷設状況が容易に確認/更新できる機能を評価する。
- 2) 排水設備の普及状況が可視化され、水洗化促進につながる機能を評価する。
- 3) 長寿命化支援として、本市のストックマネジメント向上に役立つ内容を評価する。

●品質・精度管理

- 1) 品質・精度管理として、データ品質・精度管理についての内容を評価する。

●システム運用・保守

- 1) システム運用保守として、セキュリティ、導入後の運用保守の内容について評価する。

●その他有益な提案

- 1) 独自提案（その他）として、仕様書で書ききれない魅力的な独自提案を評価する。

3.3 プレゼンテーション

●プレゼンテーション

- 1) プレゼンテーション・デモンストレーションにおいて、分かり易さ、提案するシステムの操作性、質疑応答に対する内容を評価する。